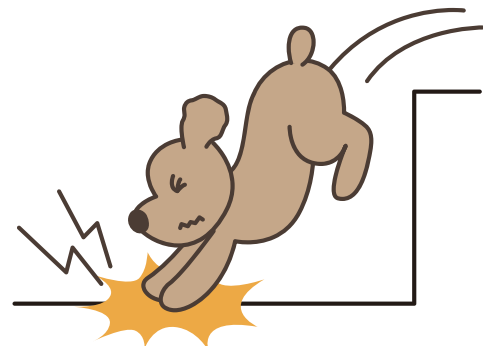


愛犬との暮らしの「困った」をリフォームで解決

掃き出し窓

急な段差は愛犬の足腰に負担がかかる！



掃き出し窓など大きな段差は、急なジャンプなどで愛犬の足腰に大きな負担がかかります。特に高齢犬の場合は股関節の病気や、脱臼の怪我に繋がるケースもあります。

解決

HOUSESTEP

置くだけ、簡単！段差解消！



愛犬もラクラク上り下り



おていれかんたん



嬉しい収納も

お庭で遊ばせたいけど、リビングから直接出入りするには段差が大きい。ウッドデッキをつけるにはスペースもない。お庭で愛犬と遊ぶおもちゃの収納も欲しいな…置くだけで全てを解決する魔法のステップです。

愛犬家住宅協会
愛犬家の快適な住まいづくりを応援します
おすすめ商品



お問い合わせ

城東テクノ株式会社



0120-106-011

〒573-1132

大阪府枚方市招提田近3丁目14番地1



愛犬と幸せに暮らす住まいの本

A5判並製・128ページ(オールカラー) 定価：本体1,500円+税
愛犬家住宅(編) PHP研究所(刊)

「床の骨」「ニオイ」「キズ」「汚れ」…
だけじゃない!



家づくりのヒントとなる21の事例を紹介



愛犬家の快適な住まいづくりを応援します
愛犬家住宅

愛犬家住宅 検索

お問い合わせ先

Aikenka Navigation

愛犬家住宅ナビゲーション



utaku

Vol.34 || Free



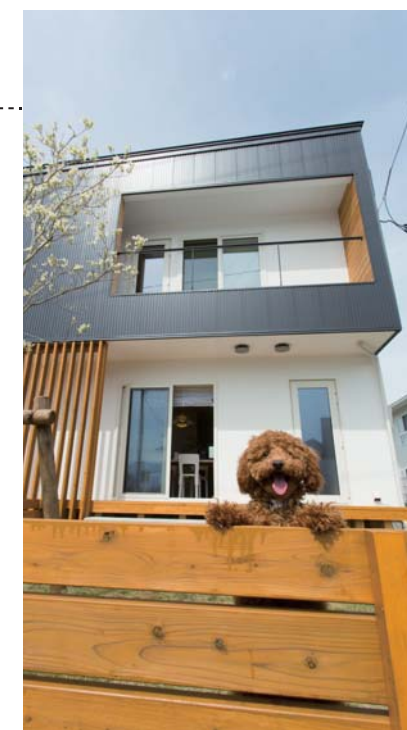
子育て世代の愛犬家住宅!!

「愛犬と一緒に子ども達も成長する」 そんな子育て家族のための愛犬家住宅。

「家賃もつたいないし、子どもたちのためにもマイホームを建ててあげたいなあ」と誰もが思うことかもしれません。夢にまで見た「自分たち家族のためのマイホーム」です。これから始まる新しいお家での生活を想像するだけでワクワクしてしまいます。そんなワクワクの中に、アパート暮らしでは実現できなかった「愛犬と一緒に暮らす」という夢を持たれる方も少なくありません。しかし、そのほとんどが、実際にマイホームを建築してから愛犬を探しはじめるため、せっかく新しい家建てたにもかかわらず、愛犬のための設備が無かったり、家族と一緒に過ごせるスペースが無かったりなど、「こ

うしておけば良かったなあ」と感じることもしばしば。中には、愛犬を室内で育てるには不向きな家になってしまうこともあります。

今回ご紹介する「子育て世代の愛犬家住宅」は、「こうしておけば良かった」が無い、愛犬と一緒に暮らすことを前提に建てた住宅です。子どもの成長や教育にも「愛犬と一緒に暮らす」ことで、命の大切さを学んだり、お世話をすることで、相手の気持ちを察し、自分で考えて行動できるようになっていきます。これからマイホームを計画される愛犬家のみなさんは、ぜひ参考にしてみてください。





これからの家は、 高性能であることも重要!!

今回ご紹介する住宅は、「ZEH」いわゆるネットゼロエネルギー住宅と呼ばれる住宅で、太陽光発電システムで発電する電気と、暮らしで消費する電気がプラスマイナスゼロになるよう、電気代が掛からないように計算されたこれからの住宅になっています。このような住宅にするためには、「断熱材」の量もしっかり計算し、より効率の良い高性能な家にする必要があります。高性能な家は、家のどこにいても快適に過ごすことができ、土間といったスペースでも寒くならないため、愛犬にとっても快適な空間を実現することが可能です。



子育てと愛犬の成長を見守る工夫もいっぱい! 素材選びや造作で、より暮らしやすい空間を演出。

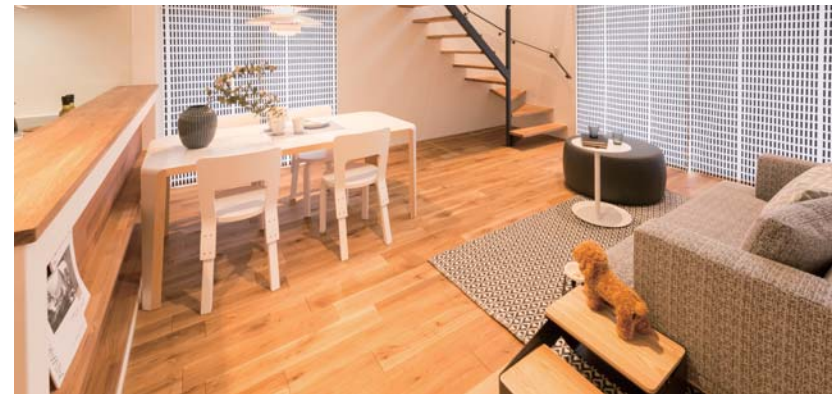


■お庭は家族みんなの 憩いのスペースへ

愛犬が思い切り走り回れるようにつくったお庭は、子どもたちにとっても大切な遊び場です。愛犬と一緒に走り回ったり、夏にはプールを作って水遊びもできるようにしました。また、ウッドデッキと階段を作ることで、家族みんなで寛げるスペースになり、家族がそれぞれの過ごし方で一緒に空間に集まれるコミュニケーションの場になっています。

■キッチン収納は扉を付けて 安全性を考慮!

室内で愛犬と暮らす、愛犬が自由に室内を移動できるといった暮らしを実現するには、ちょっとした危険への配慮も欠かせません。例えば、キッチン周辺に収納する食器や料理器具なども、ヤンチャな愛犬にとってはオモチャになってしまいます。特に食器やコップなどは落として割れてしまうと非常に危険です。そういったことの無いよう、キッチン裏の収納スペースには扉を設置して、使わない時は締めておく安全な暮らしを実現することが可能になります。



■階段の下は愛犬の憩いのスペースへ

愛犬にとって「安心できる空間」の存在は、ストレスのかからない快適な暮らしに欠かせません。今回のお家では、愛犬が1人になりたいときは玄関土間でゆっくりして、家族を感じたい時には、階段下のスペースでゆっくりできるように、2つのシーンに合わせた「愛犬の居場所」を作りました。そして、24時間換気システムを採用することで、カビやダニ、花粉などを大幅にカットでき、人間はもちろん、愛犬にとっても健康で快適な空間になっています。

子育て世代の愛犬家住宅チェックポイント!

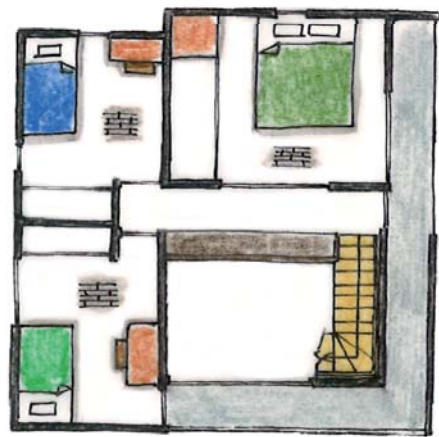
大きな玄関土間は 愛犬スペースにも!

玄関を入ると大きな玄関土間があり、子ども達の荷物や道具を置いておくことも可能。大きなスペースを確保したので、愛犬が1人でゆっくりしたい時や、夏の暑いときにはタイルでひんやり気持ちよく過ごすこともできる、くつろぎの場になりました。また、タイルなのでお掃除も楽になるのがうれしいですね。



お庭には木製の柵を作って ドッグランに!

リビングに面したお庭にドッグランを作りました。天気の良い日やお友達のワンコが遊びに来た時など、ここで楽しく遊べますね。注文住宅だからできる、建物とマッチした可愛い木製の柵で素敵なドッグランになりました。



大きな吹抜けで 開放感いっぱい!

高性能な住宅は、大きな吹抜けを作っても夏涼しく冬は暖かく室内を保てるため、開放感いっぱいの家族が寛げる空間ができました!



「災害に強い家」は愛犬家住宅のスタンダード。

ここ最近、全国各地で災害のニュースがメディアを賑わせ、その度に、「ペット」の問題がクローズアップされています。ペットと一緒に暮らすライフスタイルが確立された今でも、まだまだ多くの避難所では「ペット同伴禁止」になっている現実があります。愛犬家の多くは、「家族同様に暮らしているペットと離れるのは可哀そう」

「離れるわけにはいかない」ということで、避難所の駐車場で車に寝泊まりするといったケースも見受けられます。そういった事情から、「大きな地震にもしっかり耐える丈夫な家」は愛犬家にとってのスタンダードになってきました。様々なケースを想定して、自分たち家族に合った「愛犬家住宅」を作り上げていきたいですね。

